



令和7年度のスタートに当たって

校長 市川 真志

雨でスタートした4月でしたが、その後暖かさを取り戻し、入学式・始業式は満開の桜と共に、晴天のなか迎えることができました。私も、きっとこの日を忘れることはないでしょう。

4月から、八潮中学校の校長として赴任させていただくことになりました、市川真志です。これから、皆さんと充実した日々を送っていきたいと思います。よろしくお願いします。

八潮中学校に来て、「素晴らしい」と感じたことが二つあります。一つ目は、自然の美しさです。広い中庭には、大きな桜の木があって、悠々と花を咲かせていました。グラウンドの横には、日本庭園のような空間があり、その中央には見事な「五葉松」が堂々とした姿を見せています。どの植物も、八潮中学校の長い伝統を物語っているようで、とても感動しました。更に、先生方の配慮で、所々にベンチが置かれており、美しい自然の中でくつろげる空間がたくさんあります。本当に素晴らしい学校だと思いました。二つ目は、人の力強さです。赴任した日から感じていたのですが、先生方がとてもパワフルでびっくりしました。職員室からは常に話し声や笑い声が聞こえてきて、とても良い雰囲気だな、と感じました。そして4月7日の準備登校を迎え、初めて生徒の皆さんに会いましたが、先生に負けず劣らずパワフルで驚きました。しかも、とても温かく仲の良い雰囲気で練習や準備を行う姿に、私自身ワクワクしました。本当に素晴らしい学校に赴任できたと、感謝しかありません。まずはこの1年、最高の1年間にするために皆さんと一緒に頑張っていきますので、ご協力をお願いします。



4月8日の入学式・始業式で話した内容の中で、「学校教育目標」についての部分を抜粋して掲載します。とても大事なことだと思いますので、心にとめておいてほしいです。

入学式・始業式 式辞（抜粋）

八潮中学校の教育目標は、「認めあい、支えあい、高め合う」です。とてもわかりやすい3つの言葉でできています。認める、支える、高める、という3つの言葉に共通してついているのが「合う」という言葉です。この「合う」という言葉には、「共に」という意味が込められています。勉強でもスポーツでも、勝敗を気にしすぎてしまうと、どうしても「相手より上に行きたい」「自分だけが良くなりたい」という思いが出てきてしまいます。しかし、自分も相手もともに伸びようとするとき、自分一人でやるよりも、ずっと良い結果がでると私は考えています。周りの人のことを考え、足りないところを補い合いながら、みんなで成長していこう、そんな願いがこの教育目標に込められています。誰かから奪い取ったり、誰かを蹴落としたりしなくても、みんなが楽しく暮らすことは可能です。ぜひ、1年間、皆さんでこの教育目標を達成していきましょう。



